

『稲』づくりは条件の良い「土」から！

異常気象に打ち勝つ“積極的な土づくり”

1. 土壌改良資材の施用による
不足養分の補給と酸性の矯正

令和4年産米
1等比率
90%以上

アルプス農協管内は
カリ・ケイ酸分が不足！



異常気象に
強い稲に
仕上げよう



ごま葉枯病の
発生低減

2. 有機物の施用による腐植の増加

稲わらはしっかり
すき込み
土づくりに活用



3. 深耕等による作土深の確保と
排水性の改善



ゆっくり
ていねいな
耕起作業で、
作土深15センチ
以上を確保！

春の農作業安全運動実施中！
令和4年4月1日～5月31日